

組合設立25周年を迎え 更なる共同事業強化へ！

ACTIVE KUMIAI

山梨県歯科医師協同組合（渡辺富裕理事長）は、本年度25年目を迎えた。山梨県内に410の組合員がおり、組合事業も毎年発展・拡大している。

昨年末には福利厚生の一環として甲府信用金庫様と提携ローンの締結を行った。当組合が甲府信用金庫様とあらかじめ連帯保証契約を締結することとで当組合員は担保・保証人



会館西側道路より

山梨県歯科医師協同組合

必要とせず低金利のローンを利用できるというものである。本年1月12日より組合員に向け発売したが、すでに申込は多数となっている。これからの需要が期待できる事業である。なお現在、都留信用組合様にも、郡内地域の組合員向けに同じ内容のローンを交渉中である。

また、現在、iPad活用によるペーパーレス会議システムの導入を検討している。これはペーパーレスによる会議資料作成等の軽減化、また、情報伝達の高速化や情報の共有化を目的としている。インターネット環境を整えながら、しばらくは実験的に本会でのペーパーレス会議を実施していく予定である。この実験後には、組合員の自宅や診療所でも電子会議が行えるインターネット電話のシステムについても検討していく方向である。

ペーパーレスはレセプト（診療報酬明細書）の分野でも進んでいる。平成18年度デンタルシステムズ様と共同開発したe-歯科システムは、現在県内60の組合員の診療所で使われている。同システムは、基本はパソコンシステムであり、電子カルテや電子レセプト、会計、患者管理、インターネット受診予約等、歯科診療に必要な機能が満載で、しかも低価格で整備できるといふメリットで普及を



会館正面より

促した。このシステムにより仕事の効率化・人件費の削減・歯科診療内容のレベルアップ等、各診療所で成果が出ているようである。また、平成20年4月からは歯科衛生専門学校等の後進を育成する場で正規の授業としても取り入れられた。この事業に関しても、「将来的な普及が期待できる」と組合は述べている。